

公益財団法人 島根県西部山村振興財団
平成 27 年度事業報告

運営方針

当財団の公益目的事業は地域資源活用推進事業であり、これは地域資源に再注目し、これを活用した第二次産業・第三次産業を育てることにより、山村の振興を図るものです。特に当該地域の重要な資源である山林については、県産材の需要拡大が求められており、また適切な間伐が自然災害の被害低減につながるという観点から、間伐材を含めた地元材の活用推進に特に注力するものです。

昨年度は特に、昨春稼働の木質バイオマス発電事業が本格的に始まったことから、今後これまでにない質量の木材が伐採され、より適切な、かつ効果的な活用を図ることが求められていることに対応し、①県西部地域の潜在的な乾燥材の需要に対応するために木材乾燥機等を導入し、稼働を始めました ②当財団並びに地域企業が製品化する県産材製品の製造を旭町の更生施設との連携により行うと共に、受刑者の社会復帰の一助として技術指導を行ってきました。

I 公益目的事業

1 地域資源活用推進事業

(1) 地域材製品等開発支援事業

〈地域材製品の開発支援／地域材製品の企画試作／オープンラボ(工場開放)〉

当該地域において確保・保持が難しい試験研究や技術開発の体制・ノウハウについて当財団職員及び当財団がコーディネートする人材により補完する取り組みを行いました。木材加工業者、製材業者等からの相談に応じ、もしくは自主開発として、地域材製品を企画し試作、県産材製品開発を総合的に支援しました。平成27年度は、以下の事項を重点的に実施しました。

- ① 浜田地域は県西部においても特に乾燥材率が低く、乾燥材の需要があっても乾燥材の供給が難しい現状にあります。圏域内の乾燥材率を向上させること、及び他地域からの乾燥需要に応えるため、財団に新規乾燥機の導入を図り、平成27年末にその設置を完了し運用を始めました。財団では、広葉樹などの乾燥技術向上の取り組みを始めているほか、製材品の乾燥を受託しています。

設置場所 財団研究棟横

設置仕様

- ・高温型乾燥庫1基 乾燥能力例 20 m³ 外形寸 10.0 m x 2.9 m
- ・中温型乾燥庫1基 乾燥能力例 20 m³ 外形寸 6.5 m x 3.6 m
- ・中温型小型乾燥庫1基 乾燥能力例 5 m³ 外形寸 5.0 m x 1.8 m
- ・灯油炊きボイラー、木屑炊きボイラー 各乾燥庫に併用

- ② 旭更生施設において、受刑者に技術指導すると共に、刑務作業を活用して木材の節補修及び木製品制作を行いました。
- ③ 県からの委託事業として造材や原木供給方法の改善を目的とした調査を実施しました。また、昨年度に続きバイオマス燃料となるチップ素材等に関しての含水率追跡調査を実施し、その結果を情報提供しました。
- ④ 継続して取り組んでいる異樹種三層材の商品開発のために、地域の工務店やポリテイクカレッジ島根等と連携し、二次加工製品の試作を進め、昨年度から参加している県外出荷連合の展示会等においてPRを図りました。
- ⑤ 地域の広葉樹を活用することを目的とした「広葉樹活用プロジェクト」の準備を開始しました。岐阜県高山市を中心として40年間活動している木工事業者「オークヴィレッジ」の支援を受けながら、浜田の広葉樹を核に付加価値のある商品の開発、制作、営業、広報を実施するプロジェクトで、平成28年度に本格的な取り組みが行われます。

(2) 地域産品の普及促進事業

〈地域産品のPR支援／販路拡大のための情報収集提供〉

当該地域は比較的小規模な製造業者が多く、産品のPRを行う機会を設けにくいのが実情です。一方、産品の普及においては地域にとどまらない広域の市場を対象としたPR・販路開拓を継続することが必要でありこの機会の提供及び相談支援を行いました。

当財団では平成25年から西部地域の農林水産加工品の展示販売会を松江市で開催しています。昨年度は特に地域外に販路を持たない西部地域の小規模事業者の産品を加え、可能な限り取扱産品を拡充し、地域性の高い産品をより多くPR販売しました。3年目となった平成27年度は、43日間の営業期間中、延べ1,185人に販売、約196万円の売り上げがありました。平均販売客数は28人/日（前年度比の2倍、前々年度比2.3倍）、平均売上金額45,630円/日：前年度比2.3倍、前々年度比2.7倍）でした。

2. 地域づくり事業

地域内外の住民に対し、森林資源をはじめとした当該地域の特性に触れる機会を設けるほか、地域づくり支援を行う機関に対する助成、表彰を行うことなどにより山村の振興を図るものです。

- ① 森林保全学習体験事業では地域イベントにおいて木工体験を実施しました。

②地域づくり等協力事業では、地域の活性化に資することが認められる活動を支援するために、自ら主体となって積極的に行事等の活動を実施する団体・グループの経費の一部を助成しました。

③施設管理事業では、他地域住民の当該地域に対する関心や来訪の機会を増大するため、他地域からの集客拠点のひとつである公的施設「浜田市フットサルやさか競技場」の受付業務を浜田市からの委託を受けて行いました。

また、管理棟の開放を引き続き実施し、地域住民が会議室、厨房室などを利用しました。地域からの要望により、天井照明の整備や水槽シンクの増設など厨房室を改修し、これにより、弁当、餅、惣菜、漬物の製造が可能な施設となりました。弥栄町の加工グループと賃貸契約を結び、今後、新商品開発をはじめ、地元料理の伝承など地域の文化継承にも寄与するものと考えます。改修費用は浜田市弥栄自治区の補助金を充てています。

④表彰事業については、当該地域の活性化に資する生産活動や公益活動を行った団体を表彰し、地域の振興の機運を高めることを目的とした事業です。各地で類似の事業が行われていることなどから実施を見合わせました。

その他

設立20周年記念事業

当財団は平成27年度に新旧法人を通算して設立20周年を迎えました。これを記念して、以下の取り組み・催しを実施しました。

- ・木材乾燥機等の導入

木材協会などを中心とした施設更新検討準備会の意見を踏まえて、県補助事業を活用した導入を図りました。

- ・記念祝賀会、「林業DVD」上映会及び意見交換会

7月31日に財団設立20周年記念祝賀会を弥栄会館で行い、財団20年の歩みと今後の事業展開についての紹介、林業をテーマにしたDVDの上映会及び津和野町の「地域おこし協力隊」で活動されている田口壽洋氏による活動報告・意見発表を行いました。

- ・フットサル競技場愛称制定

浜田市やさかフットサル競技場に故大田肇雄氏のお名前を冠した「大田肇雄フットサルパーク」の愛称が制定されました。愛称制定を記念して本競技場横に記念プレートを設置し、その除幕式を8月2日に行いました。

<会議・参加行事等>

平成27年	5月15日	財団監査(弥栄)
	5月15日	理事会(書面決議)
	5月18日	島根県西部山村振興財団担当課長会議(浜田)
	5月28日	評議員会・報告連絡会(浜田)
	7月31日	理事会(弥栄)
	7月31日	財団20周年記念式典(弥栄)
	8月2日	フットサル場愛称制定記念プレート除幕式(弥栄)
10月19日		大阪リビング&デザイン展2015出展(～10月16日 大阪)
10月19日		期間限定アンテナショップ「森トピア」オープン (～11月30日 松江)
	11月17日	東京ジャパンホームショー出展(～11月19日 東京)
平成28年	3月14日	理事会(浜田)
	3月19日	江の川下流域林業活性化協議会(川本)

<セミナー参加等>

平成27年	7月22日	マイナンバー制度研修(浜田)
	8月31日	原価管理セミナー(松江)
	12月14日	マイナンバー制度合同説明会(浜田)
平成28年	1月14日	ボイラー取扱い技能講習(～1月15日 広島)

<イベント参加等>

	8月2日	石見小学生フットサル交流選手権大会(木工体験 弥栄)
	8月16日	益田市グラントワ(木工体験 益田)
	8月23日	益田市グラントワ(木工体験 益田)
	8月25日	長浜八朔花祭り(花提供 浜田)
	9月5日	グラントワキャンドルフェスタ(木工体験 益田)
10月18日		職域フットサル大会(弥栄)

II 収益目的事業

- (1) 県産材木製品受注事業 <木製品の受注製作販売>
- (2) 土地建物賃貸事業 <金城町財団所有地の賃貸>

収益確保を目的とし、木製品の製作・販売及び不動産賃貸等を行う事業です。

- ・収益確保を目指すために、県外へ販売可能な既製品の開発が必要であり、そのため商品競争力の向上を図るために、旭町の更正施設との連携を図りました。

III 財団の運営

財団の業務執行に関する意思決定を行い、業務を公正に執行するため、理事会評議員会を開催し、適正な財団運営に努めます。

① 理事会

- 第1回 平成27年5月15日(書面決議)
平成26年度事業報告・決算書類承認の件
- 第2回 平成27年7月31日(弥栄)
木材人工乾燥設備導入の件・財団管理棟厨房室の利用開放とそれに係る改修の承認の件・業務執行理事選任の件
- 第3回 平成28年3月14日(浜田)
平成28年度事業計画・収支予算の件

② 評議員会

- 定 時 平成27年5月28日
平成26年度事業報告・決算書類承認の件

③ 監査

平成27年5月15日 26年度における会計及び業務監査

④ 情報の公開

ホームページに、組織・会計及び各種事業についての情報を公開しています。

平成27年度収支決算

公益目的事業会計

経常収益計	113,491,848
① 地域材製品等開発支援事業	26,622,206
② 地域産品の販売促進事業	1,941,126
③ 森林保全学習体験事業	202,100
④ 地域づくり推進事業	0
⑤ 施設管理事業	6,495,201
⑥ 表彰事業	0
⑦ 共通	78,231,215
経常費用計	61,760,035
① 地域材製品等開発支援事業	37,092,920
② 地域産品の販売促進事業	5,015,422
③ 森林保全学習体験事業	424,518
④ 地域づくり推進事業	1,203,000
⑤ 施設管理事業	6,674,281
⑥ 表彰事業	0
⑦ 共通	11,349,894

収益事業等会計

経常収益計	13,433,203
① 県産材を使った木製品受注事業	9,068,301
② 土地建物の賃貸事業	3,996,000
③ 共通	368,902
経常費用計	14,925,555
① 県産材を使った木製品受注事業	10,082,596
② 土地建物の賃貸事業	2,590,015
③ 共通	2,252,944

法人会計収益	135,657
法人会計費用	1,652,991

当期経常増減額	公益事業	51,731,813
	収益事業	△ 1,492,352
	法人会計	△ 1,517,334
	増減額	48,722,127